

## 特許出願公告抜萃

## 特許出願公告抜萃

**高反射率の反射表面を有する Al 材料の製造方法** (12 年特許公告第 2187 號 公告 12-6-7 亞米利加合衆國 アルミニウムコムパニー オブ アメリカ) Al の表面も高反射性のものとなし且長期に亙り之を不變に保持すべき方法を得んとする目的を以て 硫酸と弗化水素酸を含有する電解液中に於て直流又は交流を用ひ Al 表面を陽極として電極處理を行ふことを特徴とする 高反射率の反射表面を有する Al 材料の製造方法。

**熱的還元によりて金屬 Mg を連續的に製造する方法** (12 年特許公告第 2189 號 公告 12-6-7 獨逸國 イーゲーファルベンインツストリー アクテングゼルシャフト) 大規模にて熱的還元によりて金屬 Mg を連續的に製造せんとする目的を以て 還元を珪素珪素鐵或は少くとも約 1,650°C なる熔融點を有する反應殘滓を生ずるが如き珪素と Al 又は場合に依り之等と鐵との合金に依りて 1,300°C 以上の溫度に於て但し反應殘滓の熔融點以下に於て廻轉管爐内に於て行ふ事の特徴とする ドロマイド等の如きマグネシア含有原料物質の熱的還元によりて金屬 Mg を連續的に製造する方法。

**酸素より高き沸騰點を有する空氣組成成分を採取する方法** (12 年特許公告第 2265 號 公告 12-6-11 獨逸國 ゲゼルシャフトフュールリンデス アイスマシネン アクテングゼルシャフト) 空氣中微少の濃度に含まるゝ是等の組成成分を甚得率よく採取する目的を以て低温冷却に依り空氣を分解する際得らる クリプトン及クセノンの如きを含める瓦斯狀酸素を洗滌装置に流入せしめ其一部分を洗滌装置の上部に於て凝縮せしめて生成せらるゝ所の殆どクリプトン等を含まざる液體酸素を以て向流洗滌をなすことを特徴とする低温冷却に依る空氣分解に際し酸素より高き沸騰點を有する空氣組成成分の採取方法。

**珪瑯釉藥及陶磁器釉藥製造方法** (12 年特許公告第 2266 號 公告 12-6-11 臺灣臺北州 臺灣鑛業株式會社) 光澤優雅にして乳濁作用良好なると共に化學的及物理的抵抗性の大なる珪瑯及陶磁器釉藥を得んとする目的を以て 珪瑯釉藥及陶磁器釉藥原料に白雲母粉末又は白雲母と長石又は珪石等の岩石と共に粉末したるものを調合することを特徴とする珪瑯釉藥及陶磁器釉藥製造法

**高周波電流粉鑄還元爐** (12 年特許公告第 2275 號 公告 12-6-11 東京市 菊池秀之 外一名) 粉鑄及還元材等の混合物を電極間に於て螺旋運動を與えつゝ迅速に粉鑄を還元し且つ粉鑄間の發生瓦斯を容易に排除し得べくし連續的に高周波電流に依つて粉鑄を還元し得る高周波電流粉鑄還元爐を提供せんとする目的を以て螺旋式運搬軸の一部に螺旋型カーボンの如き電極を取付け該電極に對向して一個或は一個以上の對電極を設け該螺旋型カーボン電極を旋回せしめ粉鑄及還元材の混合物に螺旋運動を與えつゝ高周波電流を通して還元を行ひ連續的に排出せしめ得べくせるを特徴とする高周波電流粉鑄還元爐。

**中空鑄塊の連續鑄造裝置** (12 年特許公告第 2288 號 公告 12-6-14 英國倫敦市 アーネストフレザー ジョンス) 中空鑄塊の鑄造を眞に連續的ならしめて之が生産率を甚だ増大せしめんとする目的を以て金屬鑄型の一連續をして注湯位置及撞壓裝置を経て移動せしむる中空鑄塊の連續鑄造裝置に於て鑄型を支持する夫々の臺車を制御製子或は制動器に依り 其等臺車の一聯より分離して把摺し以て該

臺車を一度に一臺宛注湯位置に送達し得る如くし次で該臺車を他の同様制子或は制動器に依り注湯位置に正しく位置せしめ次で該臺車を繼續給送機に依り一度に一臺宛注湯位置より撞壓位置まで給送せしむることを特徴とする裝置。

**金屬薄板其他の圓筒成形裝置** (12 年特許公告第 2292 號 公告 12-6-14 東京市 隅田欣眞) 金屬薄板或は紙布等の材料に依る圓筒の作製を簡易に遂行せんとする目的を以て 所要の形を有する二個の半圓筒を對向せしめて成形筒を構成し該半圓筒の一を其一縁に近き個所に於て兩端板に樞支せしめ他の半圓筒の一縁部に形成せる咬止部に於て挾持板により被成形材を咬止せしめ且此際挾持板の後端に依り上記半圓筒を眞圓の位置に保持せしめつゝ成形筒を廻轉せしめ被成形材を捲着し捲着を終るや咬止部を開放すると共に半圓筒を内方に搖動せしむることに依り圓筒の徑を縮少せしめて成形後の圓筒を抜取り易からしめたるを特徴とする金屬薄板其他の圓筒成形裝置

**輕合金防蝕塗料** (12 年特許公告第 2331 號 公告 12-6-16 大阪市 オリエンタルペイント株式會社) 比重輕少にして容易に堅牢且密着性大なる塗膜を形成し防蝕效果顯著なる輕合金防蝕塗料を得んとする目的を以て ジンク イエロー或はジンクバリウムイエローを有效顔料としアスベストン クレー タルクベンナイト及雲母粉の内一種或は數種を混合せるものを補助顔料とする混成顔料をアルキルフエノール樹脂一支那桐油一亞麻仁油型ワニスにクマロン樹脂一支那桐油型ワニス或はアルキッド樹脂ワニスを添加せる場合ワニスを以て練交調合する事の特徴とする輕合金防蝕塗料

**高周波電流粉鑄還元爐** (12 年特許公告第 2344 號 公告 12-6-16 東京市 菊池秀之 外一名) 粉鑄及還元劑等の混合物に機械的振動を與えつゝ之に高周波電流を通じて橢圓體狀又は球狀の還元物を得ると同時に不純物を容易に分離し且つ發生瓦斯を容易に除去し得る高周波電流粉鑄還元爐を得んとする目的を以て 高周波電流に依つて粉鑄を還元する爐體に機械的或は電磁機械的の任意の方向に振動を與へつゝ原鑄混合物を還元處理すべくせるを特徴とする高周波電流粉鑄還元爐

**波形廻轉磁場誘導電氣爐** (12 年特許公告第 2345 號 公告 12-6-16 東京市 田彦彦一 他二名) 三相又は多相交流電源より導入する電力を各相平衡して働かしめ之によりて熔解室内の金屬を水平並に上下に波形に廻轉する磁束によりて誘導せらるゝ電流によりて發熱熔解せしめ且熔體を水平並に上下に攪拌せしむべき爐を得んとする目的を以て 多相交流電源に依る各相間に複数の電磁極と磁路とを設け一群の磁極は熔解室の側面に配置し他の一群の磁極は熔解室の底部に配置し相隣接せる磁極は上下に相距り一つ置き隣れるものは水平の位置を採る如く配置し以て茲に生ずる磁束を上下並に水平に波形に形成せしめたる波形廻轉磁場誘導電氣爐

**遠心力による軸承鑄造裝置** (12 年特許公告第 2352 號 公告 12-6-18 神戸市 西村文男) 鑄込の際際融合金に酸化を起す虞なく又炭素板を用ひたる爲取付臺及廻轉軸への熱の傳導を阻止して過熱に基く廻轉軸の歪を防ぎ且合金資料の無用なる浪費なからしめ操作簡易にして短時に均整なる優良軸承を製出し得る裝置を得んとする目的を以て 垂直廻轉軸の上端に直立に挿着せしめたる取付臺に裏金の一端を密嵌せしめ取付臺の上端即裏金内面腔部の底面は炭素製の底板を嵌着し構成せしめ裏金を包圍する位置に止定し又軸線に沿ひ

上方に吊上げ得る如くなせる加熱筒其の下方に加熱筒を吊上げたる場合に之に代りし裏金を包圍する位置に引上げ得る如くせる噴水による冷却筒と及加熱筒の上口に上周縁を嵌脱自在に載架し下部を裏金内腔部に挿入し得べくせる炭素製の漏斗とを具備したる遠心力による軸承鑄造装置。

**石炭液化法** (12年特許公告第2354號公告 12-6-18 川口市 黒川眞武 外一名) 石炭中の液化に有害なる成分を選擇的に除去し或は液化困難なる石炭より液化容易なる部分のみを収集し使用することによりて液化を著しく容易ならしめ以て油化率を増大せしめんとする目的を以て 高壓電氣を應用して原料石炭より液化容易なる部分のみを選擇的に収集する工程を斯くして得たる石炭に加壓の下にて水素を作用せしめて之を液化する工程との結合を特徴とする石炭液化法。

**銅又は銅鍍金を施したる金屬品の着色法** (12年特許公告第2355號公告 12-6-18 東京市 吉野兵藏) 銅又は銅鍍金を施せる金屬品に變色褪せざる光澤美麗なる多種多様の色彩及模様を附與せんとする目的を以て 蓋に大小の任意個數の空氣流入孔を有する内匣及該匣を收藏する外匣より成る二重匣中に表面を充分研磨されたる銅又は銅鍍金を施したる金屬品を載置し外匣が亦熱する程度即ち約 1,083°C に加熱したる後内匣の蓋の空氣流入孔の中所望の色彩に應じ何れか一を開放して空氣を一定量流入せしめ再び孔を密閉して空氣を以て冷却せしむる第一工程と斯くして得たる製品を再度研磨し更に無蓋の匣中に入れ約 899°C の溫度を以て爐中にて一定時間加熱したる後直ちに空氣を以て冷却せしむる第二工程とより成る銅又は銅鍍金を施したる金屬品の着色法。

**氣密電氣爐** (12年特許公告第2380號公告 12-6-18 東京市 逓信大臣) 從來の氣密電氣爐に比較し容易に端子部の過熱を防ぎ且つ氣密なる構造となす事を得る大容量の電氣爐の製作を可能ならしめんとする目的を以て 發熱體の自由端又は棒狀電極の導電接續室を外函外方に突出せしめ其の外表面を可及的廣大となして冷却を容易ならしめ且つ粒狀金屬を以て電氣爐の外部と内部との電氣回路を接續する事の特徴とする氣密電氣爐。

**薄身鑄物鑄造装置** (12年特許公告第2394號公告 12-6-21 名古屋市 久保田長太郎) 薄身鑄物鑄造に際し湯廻り速く湯場を起生せしめずして大なる薄身鑄物と雖も鑄造を容易ならめ然かも低廉なる砂型を使用して薄身鑄物の工費を低廉ならしめ尙且砂型孔を歪變することなからしめんとする目的を以て 坩堝(11)内に收容せる金屬湯を加壓して坩堝の下端に設けたる栓用薄板(12)の直下に之れを相對して砂型孔(5)内に耐熱金屬製遮散板(2)を設けて坩堝(11)内に收容せる加壓湯にて栓用薄板(12)を破壊發射直後遮散板(2)に衝撃して周圍に飛散すべく成したる薄身鑄物鑄造装置。

**高負荷に耐ゆる構造材料の製造鋼** (12年特許公告第2409號公告 12-6-21 獨逸國 ドルトムントヘーデル ヒュツテレフェライン アクチエンゲゼルシャフト) 低き(A<sub>3</sub>)點を有し且高彈性限界及大なる靱性を有し高負荷に耐ゆる構造材料を得んとする目的を以て 鋼が炭素 0.1~0.2% 銅約 0.5~0.6% クロム 約 0.25~0.5% と Si 並に Mn 又は兩元素の内何れか一方の元素即ち Si 若くは Mn を含有し而も其際 Si 及 Mn の含有量の割合が Mn 0.8% 以下なる時 Si 0.3~0.7% にして又 Si 0.3% 以下なる Mn 0.8~1.5% 或は Si 及 Mn 俵の全含有量が約 1.1~1.8% なることを特徴とする高負荷に耐ゆる構造材料の製造用鋼。

**取瓶の傾動装置** (12年特許公告第2420號公告 12-6-23 東

京市 日本特殊鋼管株式會社) 單一操作に依り熔融金屬の流出速度に所期の如き緩急あらしめ得る目的を以て 口注き取瓶の前部兩側を擺動面にて支持し擺動軸を中心として脊部を昇降せしむる取瓶に於て擺動軸を支柱を介して摺動楔の傾斜面上に載置し該傾斜面の傾斜度に所定の緩急を設け置き摺動楔を一定速度にて移行せしむることにより注出口の下降速度に所期の緩急あらしむる如くなしたることを特徴とする取瓶の傾動装置。

**中子製造機** (12年特許公告第2456號公告 12-6-25 東京市 財團法人理化學研究所) 中子の半型の集合芯金の介設及瓦斯抜き孔の開穿等を連續的操作によりて遂行し得ぐき中子製造機を得んとする目的を以て 中子の半型を抱持せる枠の保持子を水平盤上に相對して同時に進退し得べく設け床盤の中央部には中子の芯金を樹立せる支承臺を設けると共に床盤内には前記支承臺に穿設せる數個の細孔を夫々貫通して中子に瓦斯抜き孔を穿開すべく數個の針桿を上下方向に出入すべく設けて成る中子製造機。

**連續的人造黒鉛製造用堅型電氣爐** (12年特許公告第2485號公告 12-6-25 横濱市 小玉美雄) 比較的電力の消費量少く然かも一定原料より可及的良質の人造黒鉛を連續的に多量に得べくせる特に人造黒鉛の製造に適する電氣爐を得んとする目的を以て 頂部に於て略漏斗狀を爲して開口せる原料供給口(4)内に第一電極(5)を垂下せしめ原料供給口(4)の下部には數個の第二電極(6)を夫々爐壁を貫通して爐内に對稱的に露出せしめ第二電極(6)と爐底に設けたる製品排出口(7)との間には數個の第三電極(8)を第二電極と同様に爐内に對稱的に露出せしめ第二電極(6)と第三電極(8)との間に挿まれたる爐内壁は多數の炭素塊(3)と各炭素塊間を絶縁すべき多孔質の耐熱絶緣材料層(2)とを以て構成し連續的に供給せらる原料を第一電極(5)と第二電極(6)との間に發生する電弧熱に依り先づ急激に溫度を上昇せしめ次いで第二電極(6)と第三電極(8)との間に於て其の間を徐々に下降せしめ既に高温に加熱せられたる原料自體を通して兩電極間に流るゝ大電流に依り發生する抵抗熱に依り更に加熱を長時間繼續せしめ次に第三電極を通過したる後始めて徐々に冷却を開始し爐底より連續的に排出せしむべくせることを特徴とする連續的人造黒鉛製造用堅型電氣爐。

**高礬土質原料よりアルミナの製造法** (12年特許公告第2506號公告 12-6-28 東京市 東京工業試験所長) 簡單なる操作に依りて純粹なるアルミナを經濟的に得んとする目的を以て ボーキサイト 礬土頁岩 高礬土の如き高礬土質原料に苛性アルカリを固體の儘加へ之を混和せしめたる後常壓に於て加熱し之に水蒸氣を吹込み若くは吹込まずして反應せしむることを特徴とするアルミナ製造法。

**アルミニウム又は其合金専用清淨劑** (12年特許公告第2513號公告 12-6-28 市川市 中山孝廉 外一名) 溫溶液として使用し研磨せるアルミニウム又は其合金の表面を全然浸蝕すること無くして光澤を保ちたる儘表面に固着せる油並に油垢の類を迅速に剝離せしめ得べき清淨劑を得んとする目的を以て 硫酸又は硫酸鹽と石鹼とアルカリ類例へば第二磷酸曹達炭酸曹達の如きものを共に含有せしむることを特徴とするアルミニウム又は其合金専用清淨劑。

**連續作業爐に於ける物品供給装置** (12年特許公告第2538號公告 12-6-30 佛國 マルセル ギオルデルネフルマン 外2名) 此種供給装置の構造を簡單ならしめ爐の作業を有效に行はしめ得る目的を以て 供給用指導部材を縦方向に相並置して設け之等部材に往復運動及上下運動を與ふべくせるものに於て之等部材(6)(7)を其の一端(15)のみに於て支持し且該部材を其の長手に沿ふて驅設

したる上昇偏心盤(4)(5)上に自由に載置之等上昇偏心盤の廻轉に依りて生ずる摩擦推力を部材(6)(7)の端に向ひて作用せしめ以て該部材を牽引状態に保持し得しめ又之等の部材と係合せる前記上昇偏心盤の一部に前記牽引と反對方向の廻轉を附與して其の牽引を調整し又之等部材の一端に押偏心盤(16)(17)を作用せしめて上昇偏心盤に因る牽引と反對の方向に部材を運動せしめ且つ之等兩偏心盤の角度を調節し得べくし更に適宜の装置(25)に依りて上記部材の供給運動を其の死點に達するに先立ちて中斷し以て押偏心盤の衝程を其の全長の一部に局限し得べからしむるを特徴とする連續作業爐に於ける物品供給装置。

**マンガンシリサイド製造法** (12年特許公告第2577號公告12-7-2 東京市 日本電氣工業株式會社) 二酸化マンガンを炭酸滿俺鑛石等を比較的低温度に於て容易に還元して炭素の混入を阻止し珪素含有量高き低炭素マンガンシリサイドを生成せしむる目的を以て二酸化滿俺又は炭酸滿俺若くは之を含有するものを還元焙燒し一酸化滿俺に變じ之に過剰量 珪石と酸化石灰 酸化マグネシウム其他のアルカリ土類の酸化物を加へ加熱熔融し滿俺を珪酸鹽となして熔融點低き脆弱なる珪酸鹽共融體たらしめ之を粉碎し之に珪石を追捕し炭素に依り電氣爐中にて還元することを特徴とする マンガンシリ

サイドの製造法。

**マグネシウム及マグネシウム合金の熔融法** (12年特許公告第2578號公告12-7-2 東京市 日本マグネシウム金屬株式會社) 簡單且有利にマグネシウム及マグネシウム合金を熔融する場合に酸化に對して保護せんとする目的を以て 處理すべき材料を其の熔融温度にて蒸氣となるべき性質を有する液狀炭化水素油類にて洗滌し該洗滌液の殘留附着せる間に加熱熔融處理を施し其炭化水素油類を蒸氣化せしむることを特徴とする マグネシウム及マグネシウム合金の熔融法。

### 特許抜萃

特許號番	名 稱	特許權者	公告抜萃掲載本誌番號
120274	非常に少量の炭素を含有する金屬及合金の製造方法	グスタフ アンデルソン	第23年2號
120284	護膜を被着せる銅製品	株式會社住友電線製造所	
120300	アルミニウム又は其合金の陽極酸化被膜の捺染法	理研アルマイト工業株式會社	
120310	アルミニウム又は其合金の耐蝕性防水被膜生成法の改良	大田千代司	